



ギター1本でベートーヴェン、ブラームス、マーラー!?  
クラシック名曲のエッセンスを凝縮してギターで演奏

# ギターで聴く クラシック 名曲 20

津田昭治 (ギター)  
Shoji Tsuda (guitar)

new album 2014.4.10 on Sale

- 1 アルビノーニのアダージョ (アルビノーニ/ジャゾット)
- 2 ロンド (パーセル)
- 3 アルマンド～イギリス組曲第3番 (J.S.バッハ)
- 4 アラ・ブレーヴェ～ヴァイオリン協奏曲イ短調 (ヴィヴァルディ)
- 5 アンダンテ～ピアノ協奏曲第21番 (モーツァルト)
- 6 アダージョ～ピアノ協奏曲第23番 (モーツァルト)
- 7 運命～交響曲第5番 (ベートーヴェン)
- 8 アンダンテ～ヴァイオリン協奏曲 (メンデルスゾーン)
- 9 美しく青きドナウ (J.シュトラウスII世)
- 10 ファランドール～「アルルの女」(ビゼー)
- 11 アレグロ・ノン・トロppo～交響曲第4番 (ブラームス)
- 12 ポコ・アレグレット～交響曲第3番 (ブラームス)
- 13 シシリエンヌ (フォーレ)
- 14 舟歌～「四季」(チャイコフスキー)
- 15 ラルゴ～交響曲第9番「新世界より」(ドヴォルザーク)
- 16 朝～「ペール・ギュント」(グリーグ)
- 17 オーゼの死～「ペール・ギュント」(グリーグ)
- 18 大いなる喜びへの讃歌～交響曲第4番 (マーラー)
- 19 鳥の歌 (カタルーニャ民謡)
- 20 愛の挨拶 (エルガー)

※現代ギター社刊・曲集

『ギターで弾きたいクラシック名曲集 Best20 / 津田昭治・編』  
(GG509) 準拠

## ●このアルバムに寄せて

交響曲や室内楽のようなジャンルの名曲をギターで弾くということは、言ってみれば豪華な油絵を仕上げる前の段階のデッサン、素描のようなもの、あるいはありのままのカラー写真でなくモノクロームの写真の世界のようなものと考えられます。

不思議な魅力を湛えたギターという楽器は、昔からシューベルトやバガニーニ、ポッケーリニ、マーラーなど多くの作曲家の手に置かれ、愛されてきました。ベートーヴェンはギターを“小さなオーケストラ”と表現しています。

きっと天才的作曲家たちは、手軽なギターを使って大曲のデッサンを組み立てていたのではないかと想像すると、夢が膨らみます。このような想いを胸に、歴代の名曲を6本弦のギターに托し、そのエッセンスを凝縮した形でアレンジ、演奏を試みてみたのがこのアルバムです。どうぞ、素描のままの世界を、ギターの音色でお楽しみいただければと思います。 津田昭治

## ●津田昭治プロフィール

幼少より、管楽器やギターなどいろいろな楽器に親しむ。ギターを鈴木巖、ウクレレを灰田有紀彦、ハープ・オータに師事。早稲田大学卒業後、ヤマハ音楽振興会に所属し、永年にわたり演奏、教授活動を続ける。「バッハ/リュート組曲全曲演奏会」、「ヴィラ=ロボス / 12のエチュード全曲演奏会」など日本初のプログラムでのリサイタルのほか、東南アジア、北欧、ヨーロッパ、ハワイなど、海外での演奏活動も多い。

現在、後進の育成を進める活動と共に、ギタートリオTOYSのメンバー、ドイツ・ライスバッハでのヘルマン・ハウザー財団委員などを務める。



- 本体価格 2,600 円+税
- 品番: WNCN-1012
- JANコード: 4582373240123
- 全国有名楽器店、Amazon.co.jp、他に販売

発売元: ウッドノート・スタジオ  
http://www.kyoto.zaq.ne.jp/woodnote/  
woodnote@kyoto.zaq.ne.jp

